

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに児童の健全な教養を育成することを目的とする。

- 体をきたえる子
- ◎思いやりのある子
- 最後までやりぬく子
- 進んで学習する子

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、幅広く読書する意欲を育て、より深く追究しようとする生涯教育の基礎となる能力を身に付ける。

ねらい

- ① 環境を整えて読書意欲を向上させ、読書の習慣化を図るとともに豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 学年に応じた利用指導により、望ましい図書館活用の態度や技能を高める。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館の利用を楽しむことができる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

《各教科・領域との連携》
・各教科・領域の学習の導入や、必要な情報の収集及び課題の追究や解決を図るために進んで図書館を活用する。

《読書活動の推進》
・朝読書、読書科の時間、家庭で進んで読書に取り組む。
・学校図書館及び学級文庫、地域の図書館などからの貸し出し図書で読書活動を充実させる。

《図書委員会活動の活性化》
・本の貸し出しや図書館整備の当番、委員会活動時間に作成したポスターやポップ作りによるおすすめの本紹介、読書月間や全校集会での読書の呼びかけやなど、さまざまな読書推進活動を行う。

《ICT機器の活用》
・各教室のICT機器を、学習の場面で有効かつ適切に活用し、児童が関心をもって活動したり情報を収集し、知識を広げたりできるようにする。
・学習に関連する本とタブレットを並行して活用する。

《読書科の推進》
・教育課程全体を通して、計画的な朝読書や読書活動を推進する。
・読書を通じて探究的な学習を通して、様々な事象に関して自分の問題を見付け、情報を収集・整理・分析する力を育成する。
・読書ノート（低・高学年用）を作成し、「読書記録の記入」「学校図書館の使い方」「学年ごとのおすすめ本」などを活用し、個に応じた読書を支援する。
・読書会を充実するために、一人一冊ずつ活用できる同じ本を用意する。（現在26組計920冊蔵書）

《家庭・地域との連携》
・保護者の学年読み聞かせボランティアが、読み聞かせを行う。
・年度初めに募集する図書ボランティアが毎週水曜日の午前中に、学校図書館で本の修理や館内の整備、季節に合わせたディスプレイの製作などを行う。
・地域の西葛西図書館や清新コミュニティ図書館等と密接に連携し、必要な図書の貸し出しを受ける。

朝・昼読書(23単位時間/年)

学校図書館整備(教員・図書ボランティア)

おすすめの本紹介カード(児童・教員・保護者)

読書月間(春・秋)

読み聞かせ(教員・読み聞かせボランティア)

青少年読書感想文全国コンクール参加

読み聞かせ交流会(年1回)

プチ図書館(低・中・高)の整備